

レジメン番号	0636	レジメン名	FCR
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、エンドキサン
がん腫	慢性リンパ性白血病	インターバル日数	28 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day0 (/)	Day1 (/)	Day2 (/)	Day3 (/)	…Day28	Day0 (/)	Day1 (/)
リツキサン/リツキシマブ BS(R) 375 mg/m ²	点滴	mg	(↓)	↓			4 週間を 1 コース	(↓)	↓
フルダラ 25mg/m ²	点滴	mg		↓	↓	↓			↓
エンドキサン(CPA) 250mg/m ²	点滴	mg		↓	↓	↓			↓
(支持療法)									
グラニセトロン 1mg/body	点滴	1mg		↑	↑	↑	4 週間を 1 コース		↑

(支持療法)

※1 経口剤あり

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン/リツキシマブ BS	100mg 500mg	生食で 10 倍希釈	※2 下記参照/輸注ポンプ
②フルダラ	50mg	生食 100mL (1V あたり 5ml の注射用水で溶解)	30 分/点滴
③エンドキサン	100mg 500mg	生食 250mL	2 時間/点滴
④5%ブドウ糖液	500mL		メインルート
⑤生食	250mL		メインルート
⑥グラニセトロン	10mg	生食 100mL	30 分/点滴
⑦生食	50mL		5 分/点滴

《Day0 (R : Day0 投与の場合)》

投与間隔》 (メインルート) (医師の指示通り) (側管/5 分)

投与順番》 ⑤ → ① → ⑦ → 終了

《Day1 (R : Day1 投与の場合)》

投与間隔》 (メインルート) (医師の指示通り) (側管/30 分) (側管/30 分) (側管/2 時間) (側管/5 分)

投与順番》 ④ → ① → ⑥ → ② → ③ → ⑦ → 終了

《Day1 (R : Day0 投与の場合)、Day2、Day3》

投与間隔》 (メインルート) (側管/30 分) (側管/30 分) (側管/2 時間) (側管/5 分)

投与順番》 ⑤ → ⑥ → ② → ③ → ⑦ → 終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時は、最初の 30 分は 50mg/時の速度で点滴静注を開始し、患者の状態を十分観察しながら、

その後注入速度を 30 分毎 に 50mg/時ずつ上げて、最大 400mg/時まで速度を上げることができる。

また、2 回目以降の注入開始速度は、初回投与時に発 現した副作用が軽微であった場合、100mg/時まで上げて

開始し、その後 30 分毎に 100mg/時ずつ上げて、最大 400mg/時まで上げることができる。